

平成30年 6年 全国学力・学習状況調査 結果

【平均正答率】(%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
荳子田小	79	60	72	63	65
横浜市	73	56	66	54	61
神奈川県	70	54	64	52	60
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

※A…基礎的・基本的な知識・技能が身についているかどうかをみる問題

B…基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

表からも明らかなように、平均正答率は、実施した全ての分野において全国平均を上回っています。個別の問題の結果からは、次の点が課題として挙げられます。

(国語)

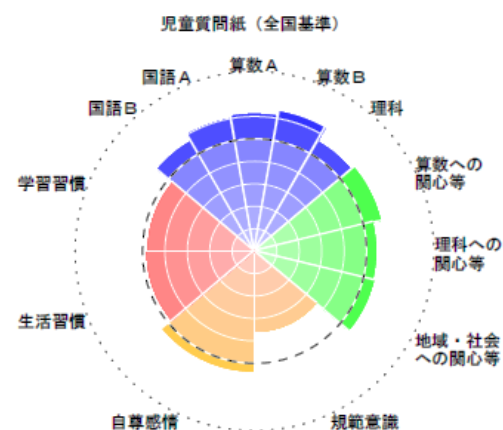
- ・相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと

(算数)

- ・円周率の意味について理解すること

(理科)

- ・より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察すること
- ・骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解すること



また、テストと併せて行われたアンケート調査からは、以下のような特徴的な結果が得られました。

質問	している・いる・思う 当てはまる	
	全国	本校
自分には、よいところがあると思う。	84.0	90.3
家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	67.6	80.6
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。	63.8	70.8
朝食を毎日食べていますか。	94.5	98.6
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.0	66.6
学校のきまりを守っていますか	89.5	58.3

上記の他の質問項目からも、全国平均に比べて国語・算数・理科の3教科ともに学習への関心・意欲が高く、学習に対する前向きな姿勢が備わっていることが分かります。また、地域や社会に対する意識も高い値を示しています。一方で就寝時刻などの習慣や規範意識における質問項目では、全国平均を下回っています。

これらの結果から本校の教育活動の成果と課題を振り返り、今後の指導に活かしてまいります。